

## ディボーション質問表



### 19日（月）ミカ書 5：1～4「ベツレヘムの村に」

1. 最も小さいものに目をとめ、救い主を送り出す氏族として、ベツレヘムを選ばれた天の父の心を思い巡らしてみましょう。その眼差しが自分にも注がれている事を覚えましょう。
2. ベツレヘム・エフラテの人々はこの預言を救い主誕生の700年前に聞きました。この預言を聞いた彼らはどう思ったのでしょうか？ その後の時代のこの町の人々はどのように思っていたのでしょうか？

### 20日（火）マタイの福音書 1：18～25「信仰の勇者ヨセフ」

1. ヨセフはこの箇所では、どのような人物として描かれていますか？ その彼がこの時置かれていた状況はどのようなものだったのでしょうか？ その中で彼は何をしようと決めていますか？ この時の彼の気持ちはどうだったのでしょうか？
2. 主の使いはヨセフに、マリヤのお腹にいる子どもについてどのような事を知らせているのでしょうか（誕生の秘密、使命など）？ また、それを聞いたヨセフはどのように思ったか考えてみましょう。

### 21日（水）ルカの福音書 2：1～7「余地がなかった」

1. 救い主はどこで生まれましたか？ 何故そこで生まれたのでしょうか。その為に天の父がした事とはどんな事でしょうか？ そのような天の父をどう思いますか？
2. 誕生の時にいる場所がなかったイエス様は、公生涯においても「人の子には枕するところもない」といわれるような生活を送られました。その生涯を思い巡らしてみましょう。

### 22日（木）ルカの福音書 2：8～20「飼葉おけのしるし」

1. 飼葉おけにイエス様を生まれさせた天の父の心は、どんな思いだったと思いますか？ 思い巡らしてみましょう。
2. 救い主の誕生を最初に知らされたのは、羊飼いたちでした。何故、天の父は彼らに最初に知らせたのでしょうか。またその知らせの内容はどのようなものだったのでしょうか？ 彼らはどうして救い主を見に行こうと思ったと思いますか？

### 23日（金）マタイの福音書 2：1～12「飼葉おけに至る二つの道」

1. 羊飼いたちには御使いを通して、博士たちには星を通して、救い主の誕生を知らせた天の父の方法を見て、あなたはどのように思いますか？
2. 博士たちの話を聞いた人々（ヘロデ王、エルサレムの人々、祭司長、学者）の反応はどうでしたか？ 彼らはどうしてそのようにしたと思いますか？ また彼らの姿から何を学ぶ事が出来るのでしょうか？
3. 長旅の危険や時間、お金など様々な犠牲を払ってまで、救い主を拝みに来た博士たちを動かしていたものは何だったと思いますか？

### 24日（土）マタイの福音書 1：18～25、ルカの福音書 2：1～20（今週のまとめ）

1. それぞれの段落（マタイ 1：18～25、2：1～12、ルカ 2：1～7、2：8～20 節）ごとによく出てくる言葉を探してみましょう（羊飼い、御使い、栄光、賛美、登録、預言者、星、王など）。よく出てくる言葉を参考にして、各段落に小見出しをつけてみましょう。そして前後の段落の内容とのつながりを考えてみましょう。
2. 今週読んだ中で、心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？ その中で一番心に残っていることは何でしょうか？ その教えられた事をどのように今週の歩みの中で生かされたのでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか？